

Knight Line

a minimalist connection game
for two players with a variant for 3
by Stephen Tavener

準備

各プレイヤーは自分の色のタイルを20個持ちます。ゲーム開始時、これらのタイルを色ごとに積み重ねてスタックにし、2色のスタックを横に隣接させて置きます。

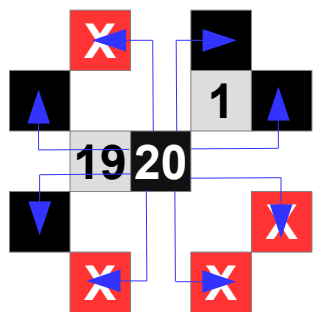
2020

方々に背の高いスタックを動かすことになるため、タイル間はスペースを空けておくことが大切です。各タイルの縦横にタイル1個分のスペースを空けることをおすすめします。

準備

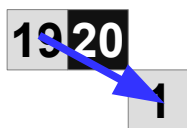
白プレイヤーから始めます。

チェスのナイトの動きで、スタックの一部を**空きスペース**に動かすことで移動を行います(最低1個は元の場所に**タイルを残す必要があります**)。全てのタイルはゲーム中に最低でも斜めでつながっていなければなりません。



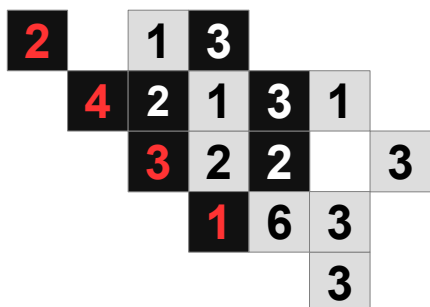
左の図は、黒プレイヤーの1手番目で移動できる場所(黒)と移動できない場所(赤のX)を示しています。

スタートプレイヤーの優位性を相殺するため、白プレイヤーの初手ではタイルを1個だけしか動かせません。



勝利条件

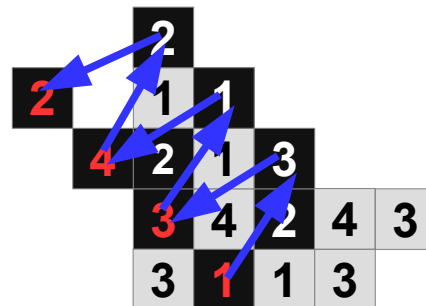
縦横または斜めに4つのスタックからなる直線を先に作ったプレイヤーの勝ちです(下の赤いラインで勝ち)。



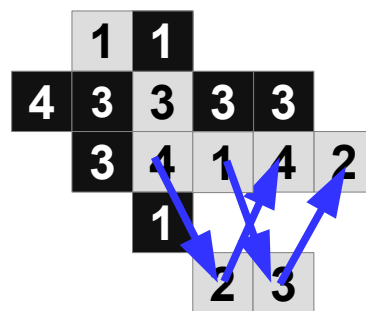
もしそれ以上動かすことができず、どちらも勝利条件の直線を作れなかった場合、黒の勝ちです。

戦略のヒント

- タイルは元の場所に戻すことはできず、離れていくだけです。従って、選択肢を残しておくためにも、スタックを分割する際は常に数個のタイルを残しておきましょう。大まかに言えば、初め数回のゲームでは最低1/3のタイルを残しましょう。
- 相手の大きなスタック付近にはガードのように数個のタイルを残しておきましょう。もしそこにタイルがないと、相手は妨害なしに直線を作ることができてしまいます。
- このようにはしごに注意しましょう:



あるいはこのような形です:



3人用拡張

3人用拡張(赤いタイル20個)は基本ゲームには含まれていません。

3人用バリエーションでは、白プレイヤーがスタートプレイヤーとなって反時計回りの順に手番を行います。次に黒プレイヤー、次に赤プレイヤーです。スタックの初期配置は次の通りです:

2020
20

以下のようにルールを変更して通常通りプレイします。

1. 白プレイヤーの初手に制限はありません。
2. プレイヤーがパスせざるを得ない状況になった場合はゲームが終了し、引き分けとなります。

プロモーションタイル(灰色)

プロモーションタイル(10個限定)は、元のゲームにちょっとした変化を与えるもので、基本ゲームには含まれません。2人プレイまたは3人プレイで使うことができます。

準備

プレイエリア中央にプロモーションタイルを置きます。次に、そのタイルに隣接する好きな位置(斜めでも可)に各自20タイルのスタックを置きます。

遊び方

バリエーション1: プロモーションタイルは、そのタイルから放射線状に伸びる全ての直線を(いずれのプレイヤーのものでもないように)ブロックします。

バリエーション2: プロモーションタイルはワイルドカード(いずれのプレイヤーのものでもある)として振る舞います。